



SANJO ROTARY CLUB

三条ロータリークラブ

週報 No. 40

2012.5.9 (No.2684)

第2560地区ガバナー／石本 隆太郎  
会 長／山田 富義  
会長エレクト／杉山 幸英 (クラブ奉仕A)  
副 会 長／丸山 行彦 (クラブ奉仕B)  
幹 事／小出子恵出  
S A A／伊藤 寛一  
会 計／明田川賢一

例会日／毎週水曜日 12:30～  
例会場及び事務局／  
三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内  
例会場／TEL 34-3311  
事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail: sanjo-rc@cpost.plala.or.jp  
http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/  
(“はshiftを押しながら“へ”のキーを  
押してください)

- 本日の出席会員数:56名中37名
- 先々週出席率:94.34%

【先週のメイクアップ】

- [4.25] 新井RCへ  
・加藤紋次郎さん
- [4.26] 加茂RCへ  
・加藤紋次郎さん
- [4.28] トリムの森ゴミ拾いへ  
・会田二郎さん、阿部吉弘さん  
・荻根澤隆雄さん、小越憲泰さん  
・樺山 仁さん、熊倉博之さん  
・小出子恵出さん、小林敬典さん  
・近藤雄介さん、渋谷健一さん  
・杉山幸英さん、関川 博さん  
・田中 仁さん、中林順一さん  
・西山徳芳さん、野崎喜一郎さん  
・平原信行さん、船越正夫さん  
・松永一義さん、丸山行彦さん  
・山田富義さん、若槻八十彦さん  
・渡辺勝利さん、渡辺良一さん (24名)
- [5.1] 三条北RCへ  
・加藤紋次郎さん
- [5.6] バンコク国際大会へ  
・山田富義さん、渡辺勝利さん
- [5.7] 三条南RCへ  
・熊倉昌平さん、菊池 涉さん  
・浅野金治さん、丸山行彦さん  
・高橋尚樹さん、加藤紋次郎さん  
・斎藤弘文さん、松永一義さん  
・中村和彦さん、関川 博さん  
・藤田絏一さん (11名)

「歴史民俗産業資料館」



西山徳芳 会員より

直前会長挨拶

樺山 仁 直前会長



皆さん、今日は。長く続いた連休、いかが  
が過ごされたでしょうか。美食三昧とかゴ  
ルフ三昧とか、楽しく過ごされたのではな  
いかと思います。

今日は、本来は山田会長さんの持時間で  
ありますが、本日は樟建設の社長の告別式  
で、葬儀委員長の熊倉会員を始め、山田会  
長、杉山エレクト他、告別式に出席と言う事で、急遽私に挨拶せよとの事で行いました。

自分も連休中、孫達と色々な所に出向き、飲んで食べてゆっ  
くりとした過ごし方で、体が怠る様な生活でした。

ところで、私は「ソバ」が大好きなものですが、なにげなくソバの味はその店によって色々ちがうのですが、それを発見する事にこだわって、福島、山形、もちろん県内、長野をあちこち巡って食べ歩いて来ましたが、「ソバ」の事を調べますと、我々の食文化の一つであるのですが、日本の歴史の中では主食として扱われておらぬ様で、世界的にもソバが主食としては知られておらない様です。世界一の生産国はロシアで、生産量100万トンで、日本は3万トンと大差があり、調理の方法は日本の方法とは全く違う方法で食べられておりますが、主食としての地位にはなっていない様です。

ソバの原産地は中国の四川省だそうですが、食べる調理方法は日本とは違い、日本の様に独立してソバ屋さんが全国に



あるのは、日本の味の文化を大切に守って来たから  
と思います。

日本では、稲や麦の前後作として栽培され、昔か  
ら救荒作物として役立って来た訳で、ソバ栽培の歴  
史は縄文時代の考古学的資料によって推定されてい  
た様で、「五穀」とは稲、麦、粟、稗、豆と五種類の  
作物が主食で、ソバは作物としての地位は低かった  
様でありました。

ソバは焼畑農業の第1作目の作物として知られる  
様に、成長が早くぐんぐん伸びて、3週間位で開花が  
始まり、70日目で収穫出来ると言う超スピードで成  
長するので、雑草が生えるすきを与えない様で、ソ  
バの根から雑草の発芽を止める物質を出している  
と考えられている様です。やせた地で育つと言われ、  
又稲の出来にくい中山間地、傾斜地などには重要な  
作物とされております。

日本ではその様に、その味覚が抜きん出たので、  
日本の食文化の一つとして、益々美味しいものが食  
べられる様です。この味覚を多くの方々に知って  
もらえば、主食としてその地位を作れるのではない  
かと思えます。

今日はソバについてのお話しで、挨拶に代えさせ  
て頂きますが、本日は先日の地区大会の報告があり  
ますので、よろしくお願ひ致します。

## 幹事報告

### 小出子恵出 幹事

◎石本ガバナー事務所より

「5月ロータリーレートのご案内」

5月1日より 1ドル=82円(現行)

◎三条北RCより

「市内4RC事業打合せ開催のご案内」

日時 5月16日(水) 18:00～

会場 三条ロイヤルホテル

出席者 2012-13年度 会長・幹事・社会奉仕委員長

◎2012-13年度 杉山ガバナー補佐より

「第1回 会長・幹事会開催のご案内」

日時 5月18日(金) 18:00～

会場 割烹 渡辺(西蒲区)

◎三条北RCより

「第32回 8クラブ有志ゴルフ大会のご案内」

日時 6月8日(金) 9:36 IN・OUTスタート

場所 下田城カントリークラブ

◎石本ガバナー事務所より

「地区大会ご出席の御礼」

◎地区GSE委員会 安達 裕委員より

「GSEメンバー受入れの御礼」

## ニコニコBOX

樺山 仁さん

本日は、山田会長の代役をさせていただきます。

地区大会の報告の会員、よろしくお願ひ致します。

渋谷健一さん

地区大会に出席予定を欠席し、誠に申し訳ござい  
ませんでした。

松永一義さん

28日のゴミ拾い、24人もの会員の協力ありがとう  
ございました。小越さんのお孫さん、関川さんの  
息子さん、ありがとうございました。

次回草刈り、5月末と6月末の予定です。

捧 賢一さん

いつもお世話になっておりますので。

明田川賢一さん

地区大会参加の皆様、お疲れ様でした。

阿部吉弘さん

先日車を運転していて、交差点で信号待ちをして  
いたら、おもいきりおカマを掘られてしまいま  
した。安全運転を心がけていてもあぶないのだと  
実感しました。

斎藤弘文さん

ゴールデンウィークに栃木県にてゴルフを楽しみ、  
足利のフラワーパークで藤の花を楽しんで参りま  
した。

小越憲泰さん

連休の3・4・5日ゴルフツアーでした。5日足利フラ  
ワーパーク、栗田美術館<sup>くりこ</sup>に行つて来ました。目の  
保養が出来ました。斎藤さん、ありがとうございました。

小出子恵出さん

4月29日、国上山から弥彦山を至て福井山まで縦  
走しました。ニリンソウが盛りでした。5月4日は  
雨の中、粟ヶ岳へ水切登山を。

西山徳芳さん

連休中、熱狂の日連続コンサートで多くのステー  
ジを聞くことができ、幸せでした。

田中 仁さん

久しぶりに来ました。よろしくお願ひします。

五十嵐昭一さん

先日の「春の旬例会」では、大変楽しい思いをし  
ました。感謝致します。

若槻八十彦さん

やっと暖かくなりました。

## 渡辺勝利さん

タイ、バンコクで開催されたRI世界大会を参加の際は、山田会長を始め大勢の参加者にお世話になりました。

## 荻根澤隆雄さん

連休の前半に飛騨高山に行って来ました。亡くなられた渋谷正一会員と人力車に乗っての思い出がよみがえってきました。

## 石橋育於さん

本日都合により、早退させていただきます。

熊倉昌平さん、加藤紋次郎さん、五十嵐晋三さん、伊藤寛一さん、会田二郎さん

よいことがありました。

スマイルボックスに協力致します。

5月9日分 ￥26,000

今年度累計 ￥1,180,000

## 「地区協議会報告」

012年度

### ■小出子恵出 会員

H24.4.21(土)

於：ホテルオークラ新潟

山田会長・会田職業奉仕委員長・小出

講師：田中 毅先生

第2680地区(兵庫)パストガバナー



講演会は午後1時30分から始まりました。昼食後のいつもは昼寝を取ってからの時間帯、講義と言ってもよい勉強会でした。内容はかなり難しい話でしたので、私を含めて目を閉じている方が目立ちました。

田中先生は、確か植木ガバナー年度の地区協議会、石本ガバナーの地区協議会と今回の地区大会の3回目の講演でした。田中先生はロータリーに奉仕理念を提唱したシェルドンの研究家です。

ロータリークラブの例会などでは、「商売」の話は「政治」や「宗教」の話と同様にタブーという雰囲気は私にはありました。「商売の話をどんどんしなさい」「商売が順調でなければロータリーどころでない」ということです。

“利己の心” “利他の心” 商売が健全であって利己の心と利他の心のバランスがとれる。

シェルドンとは

アーサー F.シェルドン

(Arthur Frederick Sheldon 1868～1935)

ポール・P・ハリスを助けてロータリーの基礎を確立した3賢の1人。他の2賢は Chesley R.Perry と Franklin B.Collins である。

経営学の先生でビジネススクールを経営

初期ロータリーの指導的人物。アメリカ・ミシガン州ヴァーノン生まれで、1908年シカゴRC入会。

1950年のデトロイト国際大会で承認された、ロータリーの標語「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」という標語の原型になる言葉を、1910年、ロータリー初の大会(シカゴ)で掲げた人です。

彼の墓碑には、この標語が刻まれています。シェルドンは、「ビジネスはすべて社会に尽くす手段でなければならない」という信念の下に活躍した人。

**「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」**

他人からしてもらいたいことを 他人にせよ。

他人に奉仕をすれば 利益がえられる。

奉仕の理念に基づいて 継続的に利益をもたらす顧客を確保すること。



「他人からしてもらいたいことを 他人にせよ」は次年度の地区ガバナー鈴木重彦さんのテーマ「恕」そのものです。

シェルドンの奉仕理念は、「継続的な事業の発展を得るには、自分の儲けを優先するのではなく 自分の職業を通じて社会に貢献する」という意図をもって事業を営むこと。

ロータリークラブが発足したばかりの1900年の前半は、いかに安い賃金で労働者を雇うかが、利益を増やす要素であり資本家が労働者を搾取した時代でした。

この時代に、原理原則に基づいた企業経営をするべきだ。さらに良好な労働環境を提供し、資本家が利益を独占するのではなく、従業員や取引に関係する人たちと適正に利益の再配分をする。これが継続的に利益を得る方法だと唱えました。

修正資本主義の原型みたいなものです。

講義の内容はほとんど経営学の話でした。中長期計画のこと、経営管理のこと、販売術のこと、幸福と奉仕の要素など多岐にわたり講義されました。

後半は時計を見ながら早口の講義でしたが目を開けて聞き入りました。この講義は、こんなにひねくれない「20年前に聞いたかった」ことと

「ロータリークラブに入会してロータリー活動が商売の一助にならなかつたらロータリーに見切りを付けてさっさと退会しなさい」が印象に残りました。

## ■ 会田二郎 会員

昨今の日本のロータリーは会員数の減少が続き、その存続の危機すら心配されています。

クラブがどのようにしてサバイバルに耐えていくのかはクラブ自身が考えなければなりません。

奉仕理念がぼやけてきたように思います。クラブの中に真の親睦が欠如してきました。

ロータリアンになる魅力を取り戻す方法を考えてみましょう。

それにはロータリー設立以前にシェルドンという経営学者が奉仕の理念について明快に教えています。

“He profits most who serves best.” 「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」

シェルドンの奉仕理念は極めて単純明快なものでした。

ロータリークラブの組織でなすべきことは、ただ一つであり、それを正しく始めるためには、ただ一つの方法しかありません。

自分の利益が得られるかも知れないと思って、ロータリーに入って来る人達です。それはロータリーではありません。

他人のことを思い他人のために尽くすという考えを受け入れ実行されて行くものと信じています。

私はこの奉仕理念のもとに成長して行くべきと考えます。

Profit報酬とは、その奉仕に携わる者だけが味わうことのできる心豊かな糧となると信じます。

## ■ 関川 博 会員



過日4月21日(土)、22日(日)の両日ホテルオークラ新潟、ANAクラウンプラザホテル新潟にて開催されましたので、ご報告いたします。当会からは、山田会長はじめ両日参加された会員もおられ、22日も17名が参加されました。当日は、地域や商工会などの催し物やイベントと重なったこともあり、地域のリーダーでおられる会員は残念ながら欠席となりました。初参加ですので十分に状況を説明出来ない事をご容赦いただき、報告のチャンスを頂けたことに感謝申し上げます。

21日のクラブ指導者研修会に引き続き22日の本会議では、例会同様点鐘そして国歌斉唱、ロータリーソングと続きますが、約1000名の大所帯にもかかわらず一糸乱れず息の合ったところには、感動いたしました。午前中は、参加クラブ紹介、石本ガバナーの挨拶に続き富田謙三RI会長代理の講演そして、過日当会にご来場いただいたGSEの皆さんと研究グループ交換会を滞りなく終了したことをご報告いたします。

石本ガバナーよりカルヤン・バネルジーRI会長が示されました「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」の年度テーマを再確認するとともに「家族」「継続」「変化」を強調されたことが印象的でした。くしくも、日本は東日本大震災で当該テーマそして掲げられました三つの強調事項はまさに復興と重なっている事や二万人近くの尊い命を失った現実や、未だ解決の糸口さえ見えない福島第一原子力発電所事故に直面し、我々ロータリアンは世界で苦しむ人々の援助を行ってきたことから、この国難に対しどう向き合うか重大な局面に立たされていることを、改めて認識し一人の力はわずかですがここに終結した



1000人のロータリアンそして世界532カ国34,301クラブ総勢1,223,413人の善なるロータリアンが大きな声を出せば必ず事態は動くと確信しました。

その事を、後押しするように富田RI会長代理からも当2560地区7分区それぞれにある運営方針は各ロータリアンの資質向上につながりやがては国難に立ち向かえるとご賞賛いただき参加させていただいている一人として、当会に所属していることを誇りに感じました。

そして、懐かしい顔ぶれの紹介です。チームリーダーのペーターさん率いるオランダGSEチームの登場には当会例会でご一緒したこともあり、久々の再会に心なやみました。4月4日の例会では全く日本語が話せませんでした。ほんの少し上達した日本語でユーモアたっぷりの報告に会場も笑いに溢れました。

午後からは、鎌田 實先生のご講演に始まり米山奨学生の活動報告、各表彰と続きましたがとりわけ、印象に残りました鎌田 實先生の講演報告をいたします。

東日本大震災での医師として人として活躍されたことは記憶に新しいと思いますが、チェルノブイリ原子力発電所事故では94回に及ぶ支援活動を評価され現地ベラルーシ共和国大統領より勲章を授与されておられます。鎌田先生へ講演依頼を直々にお願した石本ガバナーによると「まさか昨年あのような大震災そして、福島第一発電所の事故があるとは、二年前鎌田先生に講演依頼をしたときには、考えも及ばないし二年前に依頼していなかったら実現しなかったし、何よりも今日この場所での講演にこの上ないお話…」さすが、石本ガバナーの先見の明に感謝します。

車椅子の登場でした。スキーで、お怪我をされ様子でしたが、そのゆったりした語り口調に失礼ながらマッチしており、講演会ということを一瞬忘れ聞き入りました。1000名のロータリアンを前に、まるで自宅のリビングでお客様一人相手に語るようにお話しする姿は実物より一回りも二回りも大きく見えたのが不思議です。

テーマは「強くて、温かくて、優しい国、ニッポンを作ろう」。前半は、空気を読めるのは日本人だけ、ところが近年は空気を汚したり乱したりする。空気が汚れたら入れ替える。自身は、捨て子で拾われた先が貧しく、母は重い心臓病。育ての父は70歳過ぎまでタクシー運転手を行い育ててくれた。そんな、貧しさから頑張る人生を歩んで、医師になった。頑張る人生、そしていつか「頑張れ」が口癖となった。

なぜ？頑張る医師が「がんばらない」と著書を執

筆することとなったのか？ 一人の若いがん患者に、いつものように「頑張れ」と声をかけ病室を出ようとしたとき、背中越しに「頑張りたいけど頑張れない、頑張れない私がいけませんか」。言葉が出なかったとの事。頑張る自分であり頑張ることをいつか強要していた。頑張れない人もいるし「治らないのは患者のせい」にしている言葉だった。近年、半生を描写した映画が西田敏行主演で公開されました。西田敏行もまた、親はなく人に育てられる。同じにおいがする二人に共通するところは「気配り」。空気を読むだけではいけない。東日本大震災で石巻へボランティア活動を行う。風呂は、誰でも気づくが化粧品は気づく人がいなかった。女性が元気であれば、皆さん元気になります。気づきは、向こうからやってこないことをお話の中で感じました。勤務する病院の近隣は、全国有数の脳卒中発生地帯。原因は、おやつ代わりに食べる「野沢菜」も一因している。患者と向き合い、地域と向き合い、自ら現場で確認し納得し、解決策を行動で示している姿を垣間見ました。

最後に、絶望を希望に変えるヒントをご教授いただきました。結論から申し上げますと「誰かのために生きると、力がわく」相手のことを考え、自分以外の誰かの為に考え行動する。ある日、イスラエルで出会った人のこと。パレスチナにまだ幼い息子を銃で撃たれ脳死を宣告される。父は、心臓を提供する決意をするが提供先は憎むべきパレスチナ。父は迷わず提供する。自分なら、敵国へ提供などしないと思いなぜ提供したのかその心境を父に尋ねると「もし、目の前の海で溺れている人がいたら、どこの国籍か聞かないであろう。その時、国籍など無関係だ。」

先生のお話は、ユーモアを織り交ぜながら進行的だったので、途中割愛させていただきました。体に良い食べ物、日々若く元気を維持する食べ物、スキンシップは幸せを呼ぶホルモンを分泌させる等等。

とかく、もの事は自分方から一方通行の見方で、しかも自分に都合よく解釈して、時にそれを良かれと相手に強要する。空気を読むとは、相手から見た自分がいかに見えているのかを知り、自分に何が出来るのかを考え行動すること。そして、誰も絶望淵に立たされることもある事と思います。その時は、「誰かの為に生きる」。今までの人生では思いつかないお話に、驚きと感動を覚えました。そして、ハンカチで涙を拭いていたのは私だけでは無かった事を付け加えさせていただき、ご報告の結びとさせていただきます。この度は、出席をお許しいただき感謝申し上げます。ロータリアンであることを、誇りに感じた一日でした。



## 広げるため



### ■吉井直樹 会員

去る4月22日(日)に地区大会に参加してまいりました。

朝、4クラブ合同でバスに分乗して出発です。到着してまず感じたのは大勢のロータリアンで会場が

埋め尽くされる迫力と熱気です。各地区より、かくも大勢集まるものなのかと驚きました。

次に肅々たる中に、厳格を持った式典が始まりましたが、RI会長代理、石本ガバナー挨拶と素晴らしいご挨拶をいただけたと思います。

当会の例会にも参加いただいたGSEのメンバーの発表も親しみをもって聞くことができました。

午後の記念講演には鎌田實氏による大変感動するお話をいただきました。

ロータリーの夕べと称す懇親会では古町芸妓のきれいな踊りを堪能できました。

地区大会を通して少しはロータリーの活動を知る機会になりました。

ただ、この大会を運営するのは大変だろうと思います。

## 広げるために



### ■若槻八十彦 会員

4月22日(日) 三条市役所前、8時集合、出発。市内4RC合同の貸切バス2台で出発。会場である新潟市、ANAクラウンプラザホテル新潟に向かいました。

ホテル2階の広い本会議場は、テーブルなしの椅子席だけで、びっしりと埋めつくされていました。ですので、長い時間ほとんど身動きが出来ない状態でして、かなり疲れました。

この日は大会2日目にあたり、午前、午後の本会議と、国際ロータリー会長代理の富田謙三氏の講演。そして昼食の後、1時から、医師であり作家としても活躍されている、鎌田 實先生の記念講演がありました。演題は「強く、温かくて、優しい国、ニッポンを作ろう」でした。

鎌田先生は皆さんご存知の通り、医療活動、ボランティア活動、本の執筆や講演、ラジオ、テレビへの出演等々で、日々たいへんお忙しい方ですが、石本隆太郎ガバナーのたつての希望で、2年前にこの大会での記念講演を引き受けておられたそうですが、足を骨折していても、その約束を守り、車椅子に乗ってやって来られたことには、驚かされると同時に、

大変感心をさせられました。

また、鎌田先生はご自分の生き立ちのことも話されましたが、それを聞くとずいぶんと苦勞をされた方ようです。ですから、講演でのいろいろな興味深いお話、感動的なお話も心に残りましたが、何よりも先生の人柄や人間愛というものを感じ、わたしにとって、とても心に残る講演会でありました。

それからもう一つ、感心をさせられたことは、会議が終わって、懇親会が始まり、アトラクションでの、新潟古町芸妓の華やかさでした。20名以上の芸妓が入れ替わりで、2560地区7つの各分区毎の代表的な唄や踊りを披露してくれました。

日本の三大芸妓の街として、京都の祇園、東京の新橋とともに、新潟の古町が並び称されていることも初めて知りました。

大会に参加させていただき、ありがとうございました。





## <社会奉仕委員会より>

去る4月28日(土)AM 6:30から、トリムの森のゴミ拾い活動を行いました。早朝からの開催にもかかわらず、24名の会員の方々よりご参加いただき、誠にありがとうございました。次回、第2回目(草刈り)は5月末に計画しておりますので、多数のご参加をお願い致します。

(出席者は週報メイクアップの欄にのせてあります)



## 《三条ローターアクトクラブより》

### 「カクテル講習会のご案内」

日 時 6月14日(木) 【カクテル講習会 19:00～／懇親会 21:00～】

場 所 古民家造りのBAR MONZA 三条市本町2-7-25 (新小路)

締 切 6月8日(金) ※参加ご希望の方は三条RC事務局へお知らせください。

登録料 ローターアン 6,000円 / ビジター 2,000円



次週例会 5月23日 「地区協議会報告」  
杉山幸英 会長エレクト

次々週例会 5月30日 「会員卓話」 五十嵐博宣 会員

